



随想

‘99 ドイツフェア特集

楽しきかな「ドイツフェア」

赤羽根恵吉

7月31日(土)、東京での会議を早々と切り上げて湘南電車に飛び乗り、藤沢市民会館レセプションホールに着いたのが6時20分。何とか6時半の開演に間に合ったと思ったが、早くも会場はほぼ満席。楽団「シュバルベ」の前奏が始まっており、ようやく空席の一つ見つけて先ず生ビールを一杯。定刻の6時半になると有志による「アイン・プロジット」の合唱によって乾杯。いよいよドイツフェアの幕が開いた。

かねがねドイツフェアに参加したいと思っていたが、湘南日独協会主催となって初めてのフェアに参加できたことはまことにラッキーであった。特にこのフェアは私の好きなドイツ・オーストリアの音楽の演奏が中心であることが最大の魅力である。この日も湘南エールアンサンブルの主力メンバーで構成された楽団「シュバルベ」の好演奏、梶井智子さんのソプラノの美声を心ゆくばかり堪能し、楽しい土曜の一夜を過ごすことが出来た。ただ、チケットが「111」番というとびきり縁起の良さそうな番号であったにも拘わらず、くじ引きで当たらなかったのが唯一の心残りであった。

(会員・湘南アマデウス合唱団 団長)

10月23日(土)の会員懇話会

日時 10月23日(土)午後6時～8時

会場 キリンシティ藤沢 TEL0466-50-2349

(藤沢駅南口駅ビル・フローラ藤沢2F)

会費 各自自弁 会場でお目に掛かりましょう。

湘南日独協会 '99活動予定

★11月27日(土) 14:00 第6回コンサート例会

「ゲーテの詩によるドイツ歌曲の午後」(仮題)

会場：藤沢リラホール

★1月 講演会(予定)

★3月 バッハ没後250年に因んで

バッハをしのぶコンサート

★5月 講演会 岩崎英二郎氏

演題未定

★7月 2000年ドイツフェア

■チャリティコンサート

小児癌等難病の子供と家族のための滞在施設を運営しているボランティア組織「ファミリーハウス」が主催するコンサートです。演奏は中島良能氏(会員)指揮する湘南エールアンサンブルです。今回はドイツから来日する女性バイオリニストNINA KARMONさんが特別出演します。モーツァルト：バイオリン協奏曲第4番他が演奏されます。湘南日独協会後援。

日時 1999年11月16日(火)18:30開演

会場 横浜みなとみらいホール(小)

会費 前売 ¥3,000 当日 ¥3,500

チケット取り扱い 有隣堂藤沢ミュージックセンター

TEL0466-26-2794

■本紙前号でタイトル「Die Wind」は「Der Wind」の誤りでした。お詫びして訂正します。

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL 1 . NO. 5 通巻5 . 発行 1999. 9 . 18.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 5 .

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第5回例会

心理臨床から見た

グリム童話の世界

講師 鵜沼メンタルヘルス相談室 織田信子氏

この1～2年グリム童話が日本で話題になっている。1887年に初の日本語訳が出てから100年を経て、今なぜグリムなのだろうか。

これには説話文学や民俗学その他の専門家の方々のご意見が多々あるが私は心理臨床の分野で日々接する多くの人々の心の悩みや病いの深い本質をグリム童話に代表される民間伝承物語に見だし、そこから人の内面への理解を学ぶことが多い。そうした経験を具体的にお話ししたいと思う。

「講演のテーマ」

1. 思春期の自立の為の戦い
(子殺し、親ごろし、世代交替の冒険テーマ)
2. 中高年の挫折と再出発
女性…自分の中にある男性性へのめざめ
男性…自分の中にある女性性へのめざめ
3. 自己統合の成長物語

日時 1999年 9月18日(土) 午後2時開会。

会場 ホテル法華クラブ藤沢店2F

ロータスホール

‘99 ドイツフェア特集

友人夫妻と楽しんだドイツフェア

柘植健司

さる7月31日に藤沢市民センターで行われた湘南日独協会主催のドイツフェアについて、思いつくままに書きつらねますと、まず会場の設営が良かった。肝心の音楽がとても楽しかったです。わたくしは当日、親しい友人夫妻をご招待したのですが、大変喜んでくれました。ドイツのワインがとても好評でした。料理もおいしかったです。

司会の女性の方から会場の参加者に発言をしてもらうように話があった時、昔ドイツ語の先生をやっていたといわれる方が話をされました。むかしの良き時代を彷彿とさせるほほえましい雰囲気と内容でした。個人的なことで恐縮ですが、わたくしは大学の教養学部時代、第二外国語としてのドイツ語を選んだ時のこと（岩崎先生のメーリケの Maler Nolten のゼミナール）など懐かしく思い出していました。

これに反して必ずしも感心しなかったのは、自由な発言をした1、2の人の話でした。ビールを飲んでご本人は良い気分かもしれませんが、センスある話を短



125名が参加したドイツフェア

く、あるいはユーモアをもって、その場にいる人たちを楽しめるようにお願いしたいものです。言うは易く行うはむづかしいことですが……。もっとも、何事もいっぺんに理想的なことを望んでもそれは無理で、良い雰囲気を時間をかけてみなさんと育てていくことが大切なのだと思います。会の終わりの抽選会はとてもよかったです。（会員）



随想

はじめての「ビール祭り」

伊藤 志津子

7月の「湘南日独協会ドイツフェア」に二人分申し込んだものの、誰と二人かは決めていなかった。チケットが届いたので家族に声をかけてみたところ娘と一緒に来てくれるという。彼女は大学生で部活に遊びにと忙しく飛びまわっているの、私には思いがけない返事だった。しいて尋ねはしなかったが、ドイツ語の授業に役立つかも知れないくらいに思ったのだろうと想像する。

当日会場では、テーブルをはさんで向いの方と会話するのは少し距離があり、私の場合結果的にお隣の方にたくさんお相手をしていただいた。とてもお話の楽しいご夫妻で、お知り合いになれてうれしかった。でも、もし一人で参加していたらちょっと淋しかったかも知れない。おいしい生ビールを飲んで過ごすだけでもビール好きの私には魅力ではあるが、何かもっと誰もが、あちらこちらのテーブルの人と言葉を交わすことのできるような会場であれば……とも思った。宴たけなわ、「ご挨拶」も堅苦しい雰囲気はなくて、主催者の方々のお気持ちがよく伝わってきた。ドイツ語のスピーチのとき娘に「わかる？」とそっと聞いてみたが、「ううん、さっぱり」とのこと、解ったのは“ゲーテン アーベント”だけよと言って笑った。来年は誰と一緒にきてくれるだろう。

楽しみだ。ちなみに私の家族には夫と三人の子供（大学生と高校生）がいる。（会員）

ドイツフェアに参加して

植松 尚

仕事で3～4年前までは年に2回ほどドイツ本社に出張していたが、会社の合併により最近の出張はアメリカのみでドイツが懐かしくなっているこの頃である。そんな時、職場は違うが、会社の現、前同僚で、又社内の湘南会のメンバーである柴田氏、船田氏に誘われてドイツフェアに参加した。二人とは、昨年11月の協会設立総会にも参加した。

酒を飲むのが大好きな我々にとって、“そこに行けばビールが飲める”これが今回参加の一番の大きな理由でした。ドイツ文化に造詣の深い方々の中の集まりの中で、こんな動機で良いのか少し心配でした。

しかし、好きなビールとワインを、楽団「シュバルベ」と梶井智子さんの素晴らしいドイツ音楽と、ドイツ料理を肴に、勝手なスピーチが飛び出すなかを、いつもの調子で飲ませて頂き、また楽しませて頂きました。我々にとってこのところ無かった新鮮な時間でした。ドイツのためなら死んでも良いとの女性のスピーチは印象的でした。また設立総会時に続いている大抽選会でまたまた賞品を頂きましたが、スポンサー集めの幹事さんのご苦労には感謝します。

二人の同僚の個人的な感想は次の如くでした。
「ただビールが好きで、……せいぜい人生で一度ドイツの列車で旅してみたい程度の我々も一緒にビールが楽しめる会がまた企画されることを願っています（船田氏）」

「ビールと音楽が大変良かった。秋にも、October Festivalとして、ビールを主体に開催して欲しい（柴田氏）」

また、会報によると会員懇話会が始まるとのこと、会員の方々と知り合える機会が増えることは我々のようなものにとってはたいへん嬉しく思います。ビールを飲みながらドイツのこといろいろ教えて欲しいと思っています。（会員）



随想